

日本多施設共同コホート研究 (J-MICC Study)

平成 26 年度第 2 回運営委員会 議事録要旨

日時：平成 26 年 12 月 13 日 (土) 10:30～11:50

場所：名古屋大学医学部 基礎棟 1 階 会議室 1

1. 運営委員の追加について

中央事務局長（若井）より、コホート研究実施グループのうち、愛知県がんセンターの研究責任者としての運営委員が、田中英夫先生（主任研究者兼務）から細野覚代先生に交代し、あらたに細野先生が運営委員に加わることが報告された。

2. 日本のゲノムコホートの今後について

主任研究者より、今年度が「がん研究分野の特性等を踏まえた支援活動」の最終年度であり、来年度以降のあり方については検討中であることが述べられた。今後、持続的に評価を受けるためにも、これまでの活動を地道に積み重ね、政府に継続的にアピールしていくことが重要であることが主任研究者より訴えられた。

3. Genome scan による、バイオバンク・ジャパンとの共同研究について

主任研究者・中央事務局長より、2014 年 9 月 19 日の GWAS データ活用ルール策定会議と、その後の運営委員会内でのメールのやり取りにより、GWAS データの活用ルールが策定されたことが述べられ、データ活用のルールについて確認がなされた。

4. 共同研究促進について

中央事務局長より、共同研究促進委員会のこれまでの活動実績について報告がなされた（照会 10 件、共同研究先となるコホート研究実施グループの紹介 4 件）。

5. ベースラインデータの集計・出版について

主任研究者より、J-MICC 研究のベースラインデータを今年度中に確定させ、データセットの集計結果を引用可能な単行本として発刊することが提案されていたが、ベースラインデータの集計が予定より遅れているため、集計目標を今年度末とし、出版・発行は来年度夏頃までの目標とする旨が述べられた。

6. その他